

6～7 年のステロイド使用後に全身の浮腫と浸出液を経て体重と日常生活が戻った成人アトピーの経過 (60 歳 女性)

症例 ID：001-60-KKu | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

貨幣状湿疹として複数の医療機関でステロイド外用薬を使用し、使用期間は合計 6～7 年に及びました。
一時的に症状が治まっても再発し、次第に範囲が全身へ広がりました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	湿疹にステロイド外用薬を使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	複数の医療機関を含め、合計 6～7 年程度です。
中止時期	1995 年 5 月 6 日の治療開始時です。
来院前／後	来院前に長期使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
1995 年 5 月 6 日	治療開始	ステロイドを中止し、漢方治療を開始しました。
開始後約 6 か月	症状の強い時期	全身の皮膚がざらつき、浸出液と浮腫が続き、体重は 52kg から最大 70kg まで増加しました。
同時期	生活への影響	家事ができず、夜もかゆみと浸出液でほとんど眠れませんでした。
1995 年 9 月末頃	変化	体重が少しずつ減り始めました。
1995 年 11 月末頃	回復傾向	傷が乾き始め、浮腫も日ごとに減りました。
治療約 1 年後	皮膚の変化	皮膚の色は残るものの、手触りがさらさらになりました。
治療 1 年 5 か月後	経過後	体重が元に戻り、夏を元気に過ごせるようになりました。

4. ピーク時期

ピークは、治療開始後約 6 か月間、全身の浸出液と浮腫が続き、体重が 52kg から 70kg まで増え、家事や睡眠が困難となった時期です。

5. 困りごと

- 全身の浸出液と浮腫により、自分の身の回りのことだけで精一杯となりました。
- 尿量が 1 日約 300mL の日が数日続き、不安がありました。
- 夜間のかゆみと皮膚の湿りで、ほとんど眠れませんでした。

6. 経過のまとめ

治療約 1 年後には皮膚の手触りが変化し、1 年 5 か月後には体重が元に戻りました。
皮膚の浅黒さは残っていましたが、夏を元気に過ごし、家事を含む日常生活を送れるようになりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。